

静岡県板 ニュース (青年部特集号)

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-18-7
(榎田ビル2F)

TEL. 054-252-2418
FAX. 054-252-2430

発行人 宮崎 誠

青年部創立30周年記念式典 盛大に開催される

青年部創立三十周年記念式典は、平成十八年十一月五日(日)静岡市内クール会館を会場に午後一時から開催された。

小澤青年部副部長(静岡支部)が司会となり進められ、小野青年部副部長(沼津支部)の開会の挨拶に始まり、小林青年部長(小笠支部)挨拶があった。

続いて宮崎理事長が挨拶に立ち、大要次のように述べた。

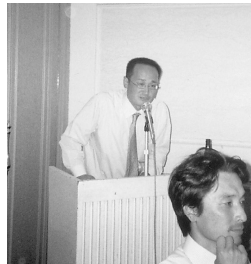
青年部は、創立以来三十年を迎えたのでありますが、この三十年の道は決して平坦でなく、独立の団体として活動してきたが、平成十一年度においては部員数の減少等もあり、組合の組織の中で、活動することになり、以来、今日に至って



司会の小澤氏



開会の辞 小野副部長



小林青年部部長



宮崎理事長のあいさつ

しかし青年部の組織状況は必ずしも十分なもの

である。青年部は、技能の練磨に努めるべき重要な時期であり、技能の取得に努めなければならない。ま

とは思われない。もっとも若者が組合の青年部に結集し、青年部の活動も活性化しなければならぬと思う。わが組合の青年部は、これまで全国大会の技能競技大会において優勝された事例に見られるように、何でもやればできる勝れた青年部だと確信している。青年部の組織の拡大と運動の強化こそが、わが青年部の課題だと思ふ。



特別章の滝、金井の両氏

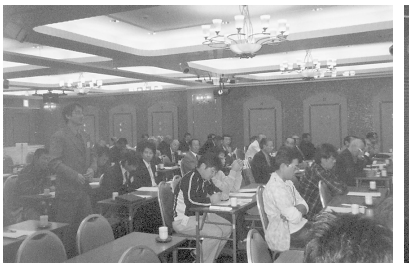


受章の歴代青年部長

た今後、営業者として活躍していくためには、技能のみでなく、経営者としての知識や見識も持つことが必要な時代になったことを理解して欲しい。

次に表彰状授与に移り、次の方々が歴代青年部長表彰を授与された。

- 初代・大滝徹、3代・宮崎忠弘、4代・青木進、5代・鈴木輝雄、6代・



式典風景



特別表彰として、第12回1級技能士全国技能競技大会(技能グランプリ)優勝の滝善幸、第26回全板連全国技能競技大会優勝の金井保栄がそれぞれ

佐野喜儀、7代・小澤文秋、8代・佐藤豊、9代・疋田豊、10代・鈴木敦志、11代・金田克比呂、12代・塩川博照、13代・金井保栄、14代・小林正裕
また副部長、会計経験者として佐野勝義、山本泰義、杉山準治も受賞した。

受賞した。そして来賓の中板協青年部長永井紀久氏、静岡県板青年部OB会長鈴木輝雄氏から祝辞をいただいた。いったん休憩後、前中板協青年部長小田由紀文氏、中板協青年部長永井紀久氏の記念講話があり、記念式典は午後三時終了した。引き続き懇親会で和気あいあいの楽しい時を過ごして、散会した。



鈴木OB会長の祝辞



永井中板協青年部長の祝辞

静岡県板金工業組合青年部 創立三十周年に寄せて

祝辞



全日本板金工業組合連合会
社団法人日本建築板金協会
青年部部长 尾崎昌行

この度、静岡県板金工業組合青年部が創立三十周年を迎えられるにあたり、全日本板金工業組合連合会青年部並びに社団法人日本建築板金協会青年部を代表いたしまして、心よりお祝いを申し上げます。

マスコミ等の報道では経済の発展・景気の回復等の明るい話題が報じられておりますが、我々建築板金業界ではその実感に乏しく、昨年から材料の値上がりも追い討ちを掛け、いよいよ厳しい時代になってきたというのが実感であります。このような状況の中で、我々青年部は建築板金業界の技能・技術を次世代に引き継ぎ、新たな歴史を作るといふ使命感を持って

行動することが求められています。

青年部という恵まれた環境の中で、失敗を恐れて行動しなかつたら、後で悔やむことになりかねないと思います。仮に失敗をしても、その失敗は今後の糧に、さらには励みにさえなるはずで、そのためにも見聞を広げ、広大な視野で物事を捉えて行くべきと思います。

貴青年部には、この三十年間に培ってこられた実績と経験というかけがいのない財産があります。この財産を最大限に活かし、更なる飛躍を期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞



中部板金工業組合協議会
青年部相談役(前部長)

静岡県板金工業組合青年部

部創立三十周年を心よりお祝い申し上げます。

創立されて以来今日まで皆様のご苦労、ご努力されながら、技術の向上に努められる一方で各種の研修会及び講習会などに積極的に取り組み、数多くの成果を上げながら年々組織を拡充し、ここに三十周年という記念すべき節目を迎えられましたことに対し、深く敬意を表する次第です。

さらには、貴組合青年部におかれましては、中部板金工業組合協議会青年部の事業に際しまして大変深いご理解とご支援、ご協力を賜り、ここに改めて厚く感謝を申し上げます。私が部長在任の際にも、このほか尽力いただいたことは記憶に新しいところです。

さて、貴組合青年部が全国組織に先駆けて創立されてより、数々の時代の荒波を乗り越え、その上に新しい時代の担い手として揺るぎない位置づけを得たことは、まさに私共の業界にとって誇り高きことであります。私たちを取り巻く環境は刻一刻と変化し、大きなうねりを持って情勢が変化の中で、現在もお若手

の育成、結束の強化、技術の錬磨によって私共の業界を力強く牽引していく姿は、この三十年から四十年そして将来へとつながる飛翔そのものであります。

今後、ますます混沌とした時代となるでしょうが、人と人とのつながりを武器にして貴組合青年部が業界の中軸を成し、発展に寄与するパワーを存分に発揮することこそ、青年部のあり方の礎であるといえます。

静岡県板金青年部が創立三十周年を契機として、次の世代が期待する夢のある業界を一層めざましい発展を遂げられますことと、貴組合員ならびに青年部各位の更なるご活躍を祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞



中部板金工業組合協議会
青年部部长 永井紀久

このたび、静岡県板金工業組合青年部が創立三十周年という記念の日を迎えられましたこと、心よりお祝

い申し上げます。これもひとえに歴代青年部員皆様方のご苦労と熱意の賜物でありましょう。特に貴組合青年部におかれましては技術・技能の発展にも積極的に取り組み組んでおられ、その結果として全国建築板金競技大会に於ける数々の栄誉に輝いておられる事実に敬意を表します。

さらには、我々中板協青年部の一員として深いご理解とご協力を賜り、ともに中部板金業界の発展のためにご尽力いただき、改めてお礼を申し上げます。

さて、後継者不足が深刻化している板金業界ではありますが、最近の消費者のニーズと作業内容の多様化を考えますと、決して将来に希望が持てない業界ではないと確信いたします。高度な技術・技能に加え、デザイン的にも機能的にも素晴らしいファインスチールの世界をこれからの若い世代の人たちが受け継がないはずが無い。我々青年部は、さまざまな活動に於いてそれらをどう業界内外に発信していくかということに課せられた使命と捉え邁進して行かなければなりません。

そういった活動が貴組合青年部の益々の発展となり、さらには青年部員の増加にも繋がるのではないのでしょうか。

最後に、今日まで静岡県板金業界を長きに亘り支えてきた実績を称え今後の更なる活躍に期待いたしましてお祝いの挨拶といたします。



板金機械資材一式販売

株式会社 小山金物

若林センター 〒432-8052 静岡県浜松市東若林町67-1
TEL (053) 441-4471代
TEL (053) 442-1537
FAX (053) 442-1537
本 社 〒430-0926 静岡県浜松市砂山町357-14
TEL (053) 452-8127代

巾広いニーズに応える品揃えとサービス

株式会社 梅村商店

〒424-0826 静岡市清水万世町2-10-17
TEL (0543) 52-4171代
FAX (0543) 52-4174

建築板金資材専門店

長尺屋根壁材・曲げ加工

有限会社 諏訪部孝一商店

〒410-0862 沼津市幸町5番地
TEL 055-963-5160 FAX 055-962-8927

セキノ横段葺屋根工法

ダンネットトップ 快適横段15

スッキリした 快適エコルーフ
段差ラインが美しい

ジョイント部材不要	施工性
二重防水構造	防水性
遮熱塗装鋼板使用	遮音性
断熱ボード工法	断熱性

嵌合立平葺 防水工法 防水・立平ロック

吊子一体型で 施工がスピーディ!

嵌合ジョイント部は、雨水の侵入をシャットアウトする構造の上、止水材を充填することにより、優れた防水性耐久性を発揮します。

セキノ興産

祝辞

静岡県板金工業組合青年部
初代部長 大滝 徹

青年部創立三十周年おめでとございます。

私が初代の青年部長に指名され船出を致しましたが、何分にも最初の事でも有り、あれこれ苦心しました。東京での第一回目の競技大会（選手は清水支部・狩野真氏）及び会合、又県での会合、ソフトボール大会等と思

い出は尽きません。在任中には、皆様方の御協力とご支援を頂き、無事任期を終りました事を大変感謝致しております。

静岡県板金工業組合青年部におかれましては、この記念すべき創立三十周年を契機に今後益々のご発展と関係者各位様のご活躍を（期待致します）。

祝辞

静岡県板金工業組合青年部
第三代部長 宮崎 忠弘

県板青年部創立三十周年を迎え誠にめでとございます。

昭和五十年の発足時より各事業活動に参加し、三代目青年部長を務めさ

せて頂きましたことは、顧みて、関係各位の皆様方の御理解と御協力があったこそと、ここに心より感謝申し上げます。

「光陰矢の如し」と申しますが、月日のたつのはほんとうに早いものです。私も一昨年還暦を迎え、当時を思い出すとつい先年の事のように思われるこの頃です。

さて、昨今の我々業界も、急速に変化する社会情勢や環境に、従来の延長とは違った考えを必要とする時代になったと思われま

す。個々には、新商品・新工法等の情報を集め、自分なりの創意工夫を以って自己研鑽を重ね、ユーザーにプロとしての誇りを持つて示せるよう、精進していかなければならないと思

います。組合においても、後継者育成という大切な事業と共に、専門工事業者としての技術や技能の習得は

いうまでもなく、経営に必要知識や、社会情勢に正確に又、柔軟に対応できる企業経営者としての技

量、姿勢も必要とされること

です。この点では、青年部に求められる課題は大きなもの

になると思

います。いずれに致しましても、

私達は常に勉強を怠らず、経営努力に務めて責任保証事業を広く有効に発展させて、社会的地位の確立向上をめざさなければなりません。

組合員一人ひとりの知恵と熱意を結集して一致団結すれば、道は開けると確信

します。今後とも青年部の益々のご繁栄と、皆様方の御健勝を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせて頂

きます。

三十周年を祝す

静岡県板金工業組合青年部
第四代部長 青木 進

青年部創立三十周年を心からお祝い申し上げます。

若き後継者の皆様、君達の力で勉強技能をのびし、研究をし新たな時代の経営者を目指すよう期待を

します。貴青年部の一層のご発展とともに、皆様のご健康を祈りお祝いのことば

祝辞

静岡県板金工業組合青年部
第五代部長 鈴木 輝雄

静岡県板金工業組合青

年部が創立三十周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

光陰矢の如し、私も十周年記念式典を担当した一人として当時の思い出が

馬灯のように思い出されます。板金業界も時代と共に様々

な変化をしています。技術の高度化、情報の収集、環境問題等が山積する

昨今、次代を担う皆様

が青年部組織を最大限活用して部活動事業に積極的に提案し、参加して難

問と取り組み、自己研鑽と数多く友人を得る場が

青年部と思います。私も全板連・中板協青年部役員を通しての友人を得た

こと、県板青年部OB会の一員として今でも會員の皆様と様々な会合も

てること、これも私にと

っては大事な財産となっております。板金業界の発展は青年部の皆様

に委ねられています。一層のご活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉といた

します。今思えば、良い経験をさせて

いただいたと感謝

しています。三十周年を迎えた今日の青年部員の皆様も、青年部活動に積極的

に参加して技術の向上、情報交換等をして

いた

きたいと思

います。

今、青年部の体制が私達の頃とは異な

っていますが、後継者育成等

は大切な組織であると思

います。最近、地元支部でも若い人達の組合活動

内での活躍が目付きま

す。県全体の若い板金従

事者が青年部に理解、協

力してくだされれば、も

つと良い青年部になって行

くのではない

でしょうか。これからの益々の青年部の発展を期待したいと思

います。

祝辞

静岡県板金工業組合青年部
第十一代部長 金田 克比呂

青年部創立三十周年おめでとございます。

さて、私が青年部長在任中には、全国技能競技大会並びに県板青年部の組織改革という二つの大

きな出来事がありました。

競技大会の準備は、とても県板青年部員だけで出

来るものではありません。

親組合、県板事務局、中板協青年部、全板青年部、前年度開催県、他多数の

方々の御協力のもとに無事終了することができ

ました。競技大会を終って、協力して

いただいた方々への感謝の気持ち、充

実感、達成感などは当然のよう

に込み上げてきましたが、もっと大切なものが残りました。それは、知人、友人が多数できた

ことです。青年部員の方々が活

性化する事を祈念して私のコメントを

終

ります。

祝辞

静岡県板金工業組合青年部
第十二代部長 塩川 博照

現青年部のみなさまが、がんばって活動されて

いると思

います。私が部長をして

いた

ころも組合員数の減少を感じて

いた

祝辞

静岡県板金工業組合青年部 第十三代部長 金井保栄

静岡県板金工業組合青年部 第十四代部長 小林正裕

私が静岡県青年部長を退任してから早一年半が経とうとしています。私が青年部部長に就任した当時、地元清水支部にはまだ青年部がなく、私一人で活動している様な状態でした。地元清水支部に青年部がないまま、中板協青年部副部長・全板連青年部役員と大役を受けらるうちに、このままでいいのだろうかかと不安に駆られる日々もありました。しかしそんな時、同じ清水支部の同士と出会う、「青年部がないなら俺たちでつくってやろうじゃないか」と互いに熱い志を語り合い、清水支部長の心強い後押しもあつたお陰で、今年から清水支部青年部が結成されました。

正直申し上げますと今現在、静岡県青年部は他県の青年部と比べると盛り上がり欠ける部分があります。しかし、この静岡県板金青年部創立三十周年を機に現部長と共に他県に負けない様、静岡

祝辞

静岡県板金工業組合青年部 第十四代部長 小林正裕

静岡県板金青年部が設立され、三十周年を迎えるにあたり、記念式典の開催と県板ニュース特集号の発行が実現できる事に、心より深く感謝する次第でございます。また、青年部設立以来、青年部に御尽力されました歴代青年部役員の皆様、諸先輩の皆様には敬意を表わし感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。

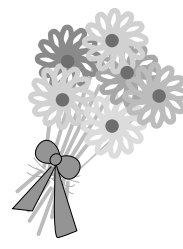
平成八年四月に二十周年を迎えてから早いもので十年、静岡県板金青年部の立場、状況もだいぶ変化してきました。現在、親組合の中に青年部が吸収されている形の中で青年部独自の行事や集まりが行われているわけではなく、青年部長の立場に就いた者だけが、全板連、中板協青年部の行事、役員会等に出席している様な状況であります。青年部の横の繋がりが無くなってしまっている今、青年部としての組織を継続していく事は、大変困難な事です。私自

県板青年部を盛り上げていきたいと思ひます。

身が青年部に入部した当初は、青年部独自の組織であり各支部数、青年部員数共に多く存在していました。勿論、青年部の総会やソフトボールなどの交流の場もあり、部員同志の親睦と面識を持ってました。既に青年部を退部された諸先輩方も、青年部時代に育まれた、親睦や面識は親組合になられて活かされているのではないのでしょうか。

板金業界を取り巻く環境が、依然見通し不透明な中、今後、静岡県板金を発展させていくには青年部組織は大変重要になります。今一度、役員の皆様、親組合の皆様、青年部への御理解と御協力、御支援をお願い致します。私も青年部役員に就いている以上、少しでも静岡県板青年部の横の繋がりが広がって行ける様に努力します。

最後となりましたが、今回三十周年の記念式典と県板ニュース記念号を発刊するにあたり、突然の安易な計画と進行にも関わらず、御協力・御協賛頂きました静岡県板金工業組合の役員の皆様、先輩の皆様、青年部役員、部員の皆様、各メーカー・問屋・関係各社の皆様、県板事務局に厚く御礼申



申し上げます。これからの関係各位、先輩方のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

青年部三十周年記念式典出席者名

来賓

- 中板協青年部長 永井紀久
同相談役 小田由紀文
静岡県板相談役 町田博
同元副理事長 横山宣之

青年部

- 三島支部 塩川博照 炭山道弘
中村正昭
沼津支部 小野俊明
御殿場支部 田代正弘 伊藤博幸
室伏公基 田代正人
湯川昌司 小林清
柳原一利 滝善幸
渡邊敦 井上博一

富士支部

- 五十嵐俊介 五十嵐信弘
石川裕康
清水支部 金井保栄 青島秀幸
山口勝次郎 高橋有也
鈴木浩介 坂本一勇賀
伊藤輝一

静岡支部

- 小澤範久 伏見隆広

祝 静岡県板金組合 青年部創立30周年
欲しい物がここにある
鉄鋼二次製品 銅/アルミ・ステンレス 化学製品
機械工具 住宅設備機器 エンジン発電機/溶接機

皆様と共に未来に向けて躍進
西川鋼販株式会社
本社/〒437-1302 掛川市大淵9617
TEL 0537-48-3828(代)
FAX 0537-48-2644

●営業品目●
新建材・鉄鋼二次製品・住宅設備機器
非鉄金属・化成品・屋根・外壁工事
NISHIKEN
西建株式会社
CO.,LTD.
〒436-0085 掛川市成瀬595
TEL 0537-23-3148(代)/FAX 0537-24-7910

- 高山徹也 時森真之
樋口明裕 渥美建治
榎原勇太 福井裕一
山本晋也
藤枝支部 前田哲司 青野竹伸
榎南支部 平野直樹 高橋章仁
小笠支部 小林正裕 稲垣初男
鈴木英行 赤堀由男
藤野良雄 名倉歩
浜松支部 手塚良市 植平歩
川口彰一 岩崎大典
●組合員
伊東支部 大川俊太郎
下田支部 重杉甫
田方支部 内山勝利
三島支部 中村敏一 増田信行
御殿場支部 井上博幸 林紀明

- 岩瀬博美 鈴木隆彦
吉原支部 宮崎誠 野村和稔
富士支部 望月哲男
富士宮支部 渡邊道夫 秋山靖和
庵原支部 海野宏高
清水支部 秋山享巧 松浦源
榑金金鈴吉 杉山之宏
伏見一雄 青木進
大滝徹 鈴木敦志
静岡支部 北村弘 岡田武夫
伏見廣 天野徳夫
山本泰義 西ヶ谷勝
富井信行
焼津支部 桜井静男 秋山幸男
藤枝支部 岩谷晃伸 前田素夫
榑南支部 平野勝義
北條支部 八木保郎
小笠支部 赤堀良平 小林光雄
山城凱弘 佐藤豊

- 中遠支部 金原政美 松下峯次
鈴木孝美 今村正行
鈴木輝雄
西遠支部 渥美佑治 太田敏彰
市川博紀
浜松支部 美和良徳 松下隆満
手塚千三 金田克比呂
山内正巳 宮崎忠弘

長尺板金加工(1.2mm×4m・0.8mm×6mまで) 切断2.3mm×4mまで
足で踏むだけビークルーフ、スカットシューマーでの立平葺、横葺
折板88型、成型長尺丸波(小波・中波) スパントレール
成型角波404・380、断熱ペフ貼、ホリカーボネート丸波
GL丸波(原板0.27・青0.25) 大同角波、カーステンレス、銅板
ガルバリウムカラー鋼板、アルミ板
雨どい(ナショナルトヨ雨どい・タニタ・中川テク)
金属業外装材・板金工具、マキタ日立電動工具、MAX
有限会社 高柳
電話 (053) 447-3370
FAX (053) 449-2490
〒432-8021 浜松市佐鳴台一丁目5番2号

